

HIV 等性感染症について考えよう

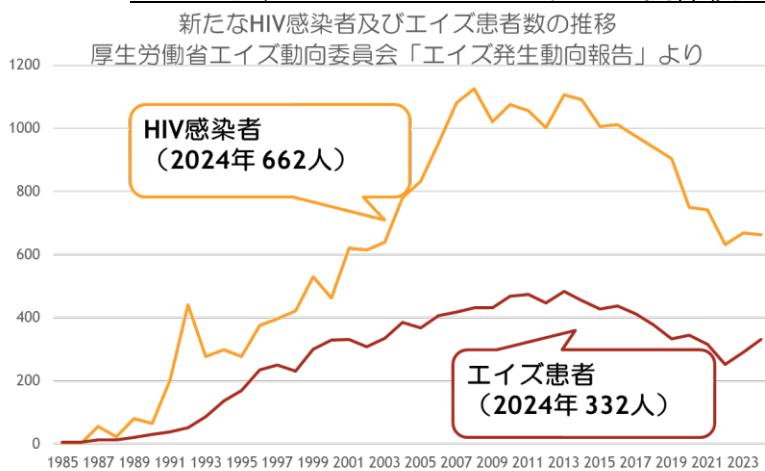
—あなたとあなたの大切な人を守るために—

HIV・エイズ

HIV 感染とエイズの発症

エイズとは、HIV（ヒト免疫不全ウイルス）に感染し発症することで、体の免疫力を低下させる病気です。およそ8割が性行為による感染で、感染から2～8週間後にインフルエンザに似た症状が出ることが多いです。その後、自覚症状のない時期が数年続き、進行すると、体内でHIVが増え、徐々に免疫細胞が破壊されていきます。さらに進行すると免疫力の低下により、健康な人ならかからない種々の感染症やがんを発症します。これをエイズ発症といいます。

HIVに感染しているかどうかは、HIV抗体検査を受けることで確認できます！



2024年
HIV感染者の
年間新規報告数は
過去20年間で
2番目に少ない
報告数でした

エイズは「死の病」ではありません

エイズは、かつて「死の病」として恐れられていたが、現在ではHIVが体内で増えるのを抑制する治療薬（抗HIV薬）が開発され、ウイルスの増殖を抑えることが出来るようになっています。

HIVに感染しても早期発見し、継続的な治療を行えば、非感染者同じように健康的な社会生活を送ることができます。

また、HIVに感染したとしても、妊娠・出産は可能です。血液中のHIVウイルス量が6か月以上検出限界未満で抑えられている場合は、自然妊娠も可能です。

不安な方は人生の節目に検査を受けよう



HIV感染の有無は血液検査で調べることができます！龍野健康福祉事務所では、毎月第2・第4火曜日（13：15～14：30）にHIV抗体検査を実施しています。詳細は裏面参照

検査を受けるという事は自分の身体の状態を把握しておくという立派な健康行動です！

コンドームを正しく使用しましょう

ピルには避妊効果はありますが、感染予防効果は全くありません。特定のパートナーであっても、正しくコンドームを使用するなど、セーファーセックスを心がけることが大切です。



★参考★

公益財団法人エイズ予防財団
感染を予防するアドバイス



注意!!

梅毒の報告が高水準で推移中

梅毒の発生状況

兵庫県では、令和5年492人、令和6年419人の報告。梅毒の患者は、男女別では男性の方が多く、年代別に見ると**男性は20代～50代、女性は20代が多くなっています。**

梅毒とは

〈兵庫県の報告状況〉



【感染経路と症状の経過】

粘膜や皮膚が、**梅毒の病変部位と直接接触することで感染**します。具体的には、性器と性器、性器と肛門（アナルセックス）、性器と口の接触（オーラルセックス）等です。オーラルセックスでは口内やのどに感染します。また、一度治療して完治したとしても**免疫が出来ないため何度も感染**しますので、パートナーとともに治療をすることが重要です。

【症状の経過】

梅毒での症状の経過

梅毒感染・潜伏期間（～数週間）

I期顕症
梅毒
(数週間～)



性器・肛門・口に
しこりや潰瘍出現

治療をしなくても症状軽減

II期顕症
梅毒
(数ヶ月～)



手のひら・足裏
・身体に赤い発疹
ができる

発疹などは自然消失

晩期顕症
梅毒
(数年～)



ゴムのような腫瘍が
皮膚や筋肉、骨
などに出現
脳・心臓に病変が
できることがある

- 粘膜や皮膚が梅毒の病変と直接接触しないように
- また病変の存在に気づかない場合もあることから、性行為の際はコンドームを使用しましょう
- 不特定多数の人との性行為を避けましょう
- 皮膚や粘膜に異常を認めた場合は、性的な接触を控え、早めに医療機関を受診して相談しましょう

HIV・梅毒抗体検査、相談について

【検査日】原則毎月第2・第4火曜日
(13:15～14:30)

- ※ 無料・匿名で検査できます。
- ※ 予約制（前日17時までに要予約）
 - ・HIVは感染の機会から12週間（約3ヶ月）以上経過してから受けて下さい
 - ・梅毒は、感染の機会から1ヶ月経過してから検査を受けてください
 - ・今年度よりオンライン予約が開始となりました！下記二次元コードから予約受付中

QRコード
龍野健康福祉事務所（保健所）
地域保健課
TEL: 0791-63-5140



もしかして、と思ったら。HIV・梅毒検査受けてみませんか。

